

現場で働く者が一番苦しんでいる！ 我々の声はパートの人たちの声の代弁である！

9月28日、名古屋地本はセントラルメンテナンス株式会社（CMC）と団体交渉を開催しました。CMCとは一昨年の団交開催に続き2回目の開催になりました。団交開催の冒頭に上田副委員長から「私たちの要求に対して団交で議論する機会を作ってもらったことに感謝する。今後もこのような機会を作っていきたい」と伝えました。職場の切実な要求を解決するために議論を行いました。

団交出席者

組 合 側 上田副委員長、荻野書記長、中西伊勢運輸区分会分会長、谷口伊勢運輸区分会書記長

CMC側 齋藤車両事業部担当部長、小笠原人事部担当課長、林人事部課長、下野人事部課長代理

[申し入れCMC会社回答]

1. トイレを早急に設置すること。

【回答】すでに関係箇所から要望を受けており対応を検討中である。

【主なやりとり】

(組合) 男女のトイレが同じスペース内にあり、お互いに音などが聞こえる状態である。プライバシーもないような恥ずかしい状態である。新しい女性社員も入社する。1年前に開催したときと同じ回答では納得できない。いつ設置できるという回答はできないのか。

(会社) 古くなった建屋も含めて全体的に考えていく。

(組合) 建屋が変わるときに、男女分離して設置されるのか。

(会社) JRが行う工事であるから、我々が答えるものではない。

(組合) 作る計画があるならば。社員の意見を聞いてから検討すべきだ。使うものの意見なしで作ったときには、結局また使いにくいと要求が出ることも多くある。

(会社) そもそも議論しないと言っている。

(組合) 建屋が変わる、対応を検討していると話したのはそちら側ではないのか。何のために集まり議論しているのか。どのような話をJRとしているのか。

(会社) JRには話はしている。CMCとしては全体を見て考えている。

(組合) 前回議論してからかなりの期間が経過している。どのように進んでいるか明らか

かにすべきだ。

(会社) 会社間の話であるので明らかにできない。

(組合) トイレは人間の生理的なものであり、使いにくいトイレは考えられない。早急に設置することを強く申し入れる。

2. CMC社員の駐車場を確保すること。

【回答】社員用駐車場の確保はできない。また、近隣の土地を借りるなど新たに確保する考えもない。現状で対応されたい。

【主なやりとり】

(組合) 地域にもよるが、地方では一般的に駐車場がないような職場はあまりない。それは都市部ほど交通網が整備されてい中では自動車が交通手段になるからである。人材確保のためにも駐車場は必要である。

(会社) 現状で対応されたい。

(組合) 駐車場が確保されている事業所もある。何が違うのか説明すること。

(会社) そのような事業所があるかどうかはこの場では分からない。

(組合) この場では分からないというならば、後で回答を出すことを要求する。

旧伊勢車両区の駐車場は利用できないか。またJRに意向は伝えているのか。

(会社) 車両区の土地はJRのものでありCMCで決められるものではない。

(組合) 個人で月8,500円の駐車場を借りている人もいる。解決すべき問題である。

3. 列車遅延を把握するためにTIDモニターを設置すること。

【回答】現状で対応されたい。

【主なやりとり】

(組合) JRの列車ダイヤが乱れたときに、遅れが分からないから、作業に支障をきたしている。

(会社) 管理者が必要に応じて対応している。

(組合) 管理者は遅れを確認して欲しいと伝えてから、駅に問い合わせをする場合が多い。ダイヤが乱れているときは、管理者も駅員も誰もが通常より忙しい。TIDにより情報を掴むことが必要である。

(会社) 列車ダイヤが乱れることは、月に何度くらいあるのか。

(組合) 9月では4日ほどあった。

列車の遅れ状態のJRからCMCへの連絡、CMC管理者から作業する人への連絡などの管理体制がうまくできていない。現場に確認して社内で管理体制を検討すること。

4. 下駄箱とを設置すること。

【回答】現状で対応されたい。

【主なやりとり】

(組合) ロッカーの中に臭いのついたものを入れると全体に臭いが移ってしまう。特に靴等は汚れや臭いが付くから、ロッカーとは別に保管場所を確保されたい。

(会社) ロッカーは個人に2個与えている。それでも足りないということか。

(組合) 貸与品が多く収まらないのが現状だ。汚れや臭いのあるものを一緒に収納したくない。以前使っていた下駄箱も保管されているし、スペースもあるのだから活用できるようにすること。

5. 大型の乾燥機を設置すること。

【回答】現状で対応されたい。

【主なやりとり】

(組合) 家庭用洗濯機の乾燥機では合羽など大きな物は乾燥できない。作業の実態に合った設備を備えることを要求する。

(会社) 現状で対応されたい。

6. 浴室を設置すること。

【回答】すでに浴室は設置されている。

【主なやりとり】

(組合) 現状では、1 m×1 mの浴室である。家庭の風呂より狭い設備である。それを多くの社員が利用するのである。入浴は1日の仕事が終わる翌日に備えリフレッシュするものである。湯船につかれるような設備に変更すること。

(会社) 現状で対応されたい。

7. 出向者の単身赴任を解消すること。

【回答】人事運用は業務上の必要性に応じて会社が命ずるものであり、本人の希望のみに基づいて行うものではない。

【主なやりとり】

(組合) ある出向社員は現場の所長に、単身赴任が4年を経過しているから自宅付近の事業所への転勤の希望を「嘆願書」に書いて提出したところ、受け取りを拒否されたことがある。本人の転勤などの希望は、口答のみでなく文書で確認し合うべきである。

(会社) 嘆願書提出に関する事実関係が定かではない。

(組合) それはおかしい、現場で受け取りが拒否された時に貴側に連絡し、現場を指導するように「堀」と名乗るものにというものに伝えたではないか。聞いていないのか。

(会社) 伝わっていない。

(組合) 前回の団交で出向者の人事運用はJ Rと協議して決めると回答している。長期にわたり単身赴任が続くと言うことはJ Rの恣意的なものであり、組合差別である。問題解決を図ること。

(会社) J Rと協議するのではなく、このように転勤させるがいいかと聞いているということである。

(組合) CMCでは他の一般社員にも単身赴任者はいるのか人数を明らかにするように。

(会社) 調べていないので分からない。

(組合) 一般職の者が長期にわたり単身赴任をしてまでその事業所にいる業務上の必要性とは何か。このようなことが社会通念上通用するのか。アパート代など必要でない経費もかかってしまう。この点についてはどのように考えているのか。

(会社) 必要であれば単身赴任も行う。

(組合) そうであるならば、本当に必要であるかどうかを争う必要がある。制度の問題も含め早急に問題を解決すること。

以上